

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37504

学校名：前田中学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○全国の記録と同程度もしくは上回った種目 ⇒長座体前屈、20m シュトルン、立ち幅跳び、持久走 ○全国の記録より下回った種目 ⇒握力、上体起こし、反復横跳び、50m走、ハンドボール投げ	・3種目で全国平均を上回り、1種目で全国平均と同程度、札幌市の平均と比べても、6種目で上回った。運動部活動加入率が高いことが要因として考えられる。
体力・運動能力 ＜女子＞	○全国の記録と同程度もしくは上回った種目 ⇒長座体前屈、立ち幅跳び ○全国の記録より下回った種目 ⇒握力、上体起こし、反復横跳び、持久走、20m シュトルン、50m走、ハンドボール投げ	・2種目で全国平均を上回り、札幌市の平均と比べても、4種目で上回った。運動部活動加入率が高いことが要因として考えられる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツをすることが(やや)好き」「体育の授業は(やや)楽しい」と回答する子どもの割合 R6 男子：95.0%・92.9%、女子 75.8%・83.3% R7 男子：95.6%・97.9%、女子 71.6%・86.2% ・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満「ほとんど運動しない」子どもの割合 R6 男子：10.7%、女子 23.2% R7 男子：8.7%、女子 26.0%	・令和6年度に比べ、運動や体育授業に肯定的な生徒は、同程度か上回った。ほとんど運動しない子どもは、ほぼ同程度だった。運動部活動に加入していない生徒の運動時間が確保されていると考えられる。
三つの取組		
①体育・保健体育等の授業の充実		②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組
具体的な取組	・保体の授業で毎回簡単な運動を取り入れ、家庭での取組も勧める。また、継続と充実を図り、その方法の1つとしてタブレットの利用を充実させる。 →各領域・種目での自分の動きを動画に残し、ポートフォリオとして活用する。 ・家庭での運動時間を確保し、毎日取り組めるように運動目標を設定して習慣化を図る。 →普段の運動に加え、長期休業期間での運動を推進する。	・運動の機会の充実を図る環境の整備 →昼休みの体育館・グラウンド開放等で仲間とともに運動に親しむことができる時間と空間の確保に努める。 ・部活動への生徒の関心を高め、多くの生徒が入部できるように工夫し、決められた時間内での効果的な取組を図る。 →運動部活動加入率 53.6%であり、運動スポーツに興味関心を持たせ、継続して取り組む楽しさを味わせたい。
		・身近な社会問題に関心を持ち、生涯を通じて健康的な生活を送るための取り組みを多面的に考えさせる →外部講師を招いた「いのちの学習」や「薬物乱用防止教室」の実施。 →食に関する指導の充実（盛付け強化週間、ランチルーム給食、リザーブ給食、3年生バイキング給食の実施など） ・心と体を健やかに保つための取り組み →タブレットを活用したアンケートで日常生活を振り返り、生活習慣と健康の関連に気づかせる。
家庭・地域との連携・協働	○体育的行事「陸上競技会」を生かし、運動に親しもうとする雰囲気醸成 仲間と協力しながら運動することの楽しさを実感できる雰囲気を醸成していく。 当日は保護者の見学ができるよう開放し、生徒の頑張りなどが家庭でも共有できるように努める。	

